

## 令和6年度第2回千葉市地方卸売市場運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年3月13日(木) 午後1時30分～2時00分

2 場 所 千葉市地方卸売市場 管理棟 2-1会議室

3 出席者 (委員11人) ※委員総数15人

松原健児 (千葉魚類株式会社 代表取締役社長) 【会長】

松浦良恵 (千葉商工会議所 常務理事) 【副会長】

渡邊英大 (千葉青果株式会社 代表取締役社長)

秋山稔 (千葉青果卸売協同組合 代表理事)

宮間敬治 (千葉水産物仲卸協同組合 理事長)

上野宏幸 (千葉市青果商連合会 会長)

市川寛 (千葉市鮮魚商協同組合 理事長)

川名慶一 (千葉市地方卸売市場商業振興組合 理事長)

佐久間正明 (千葉みらい農業協同組合 常務理事)

高梨義宏 (千葉県漁業協同組合連合会 専務理事)

小川五郎兵衛 (一般社団法人千葉市園芸協会 会長)

(事務局5人)

地方卸売市場鈴木場長、矢田場長補佐、飯塚主査、山田主査、梶本主査

### 4 議 題

(1) 千葉市地方卸売市場経営戦略(案)について【答申】

### 5 議事の概要

(1) 千葉市地方卸売市場経営戦略(案)について【答申】

審議の結果、答申案のとおり、千葉市長に対して答申することとして委員一同了承した。

### 6 会議経過

冒頭、議事録署名人の選出について、議長より宮間委員と秋山委員を指名し、委員一同がこれを了承した。

(1) 千葉市地方卸売市場経営戦略(案)について【答申】

ア 事務局より、本議案は、前回の本協議会における千葉市長からの諮問に対する、答申内容を審議するものである旨が説明された。

イ 議長が答申(案)についての内容説明を求め、事務局が次のとおり説明した。

(ア) 答申(案)記1について

千葉市場の持続的な運営や、再整備の必要性、及び再整備に向けた方向性などについて、了承するものとした内容となっていること。

(イ) 答申(案)記2について

前回の本協議会にて意見のあった内容を、答申に当たっての付記事項として、3点記載したこと。

ウ 付記事項とした3点について、次のとおり説明した。

(ア) 専門機関の設置について、再整備に関する審査会の設置を検討していくこと。

(イ) 市場関係者等からの意見聴取について、今後、市と市場関係者等との間で意見交換をしていく予定であること。

(ウ) 整備費の縮減について、民間事業者による冷蔵冷凍倉庫等の先行整備及び運営を含め、民間活力を積極的に導入し、引き続き、整備費の縮減に務めていくこと。

エ 説明事項について質疑や意見を求め審議した結果、質疑や意見等はなく、答申案のとおり確定することとし、本日付けにて千葉市長へ答申することとして委員一同が承認した。

(2) パブリックコメント手続について、次のとおり説明した。

ア 5人より意見があったこと。

イ 本協議会の答申と併せ、今後、経営戦略(案)の修正を検討していくこと。

## 7 その他(質疑・意見交換)

審議終了後、その他として、次のとおり質疑や意見交換が行われた。

<秋山委員>再整備に係るローリング整備について、本当に12年間で整備が可能なものなのか。例えば、冷蔵庫棟や旧バナナ棟倉庫など、どういった順番で整備していくのか決まっているのか。

また、今後、家賃(使用料)の話も出てくると思うが、おおよその金額が提示されていない現段階では、場内事業者として、今後の事業方針等の検討ができずに不安である。

<事務局>ご心配をお掛けし申し訳ない。再整備に当たっては、今後、場内事業者を中心に、ワーキンググループのようなものを構成し、その中でご意見を伺いながら進めていきたい。

なお、ローリング整備の順番や方法については、市として検討中であるが、その方法が適切であるかを含め、令和7年度以降、アドバイザー業務委託等によって検証を行う予定である。検証の際には、場内事業者やその他市場関連事業者の皆さまからご意見を伺うことが必須と考えており、ご協力賜りたい。

併せて、使用料についても、令和7年度以降に検証を行っていく予定である。

<秋山委員>先の1月に行われた場内事業者説明会では、各場内事業者は、3年後くらいまでに事業継続の可否について結論を出す必要があるという説明があったと認識しているが、改めて、いつ頃までにそうした検討が必要になるのか。追って、説明があるものなのか。

<事務局>令和7年度以降、ヒアリング等をさせていただき、ご意向を伺っていきたい。

<秋山委員>仮に、事業を継続する場内事業者(仲卸事業者)が現在より大幅に減少することとなった場合、新規参入の募集を行うことは想定しているのか。

<事務局>市場関係者の皆さんに意見を伺いながら検討していくことになるが、仮にそのような状況となった場合には、新規参入の募集も必要になるであろうと考えている。

以上